

## 日本歯周病学会 第114回歯科衛生士教育講演会 報告

1. 研修会名：日本歯周病学会 第114回 歯科衛生士教育講演会（日本歯科衛生士会第5次研修）
2. 主催：特定非営利活動法人 日本歯周病学会（歯科衛生士関連委員会）
3. 協力：一般社団法人 日本歯科衛生士会（島根県歯科衛生士会）
4. 日時：令和7年11月24日（月） 10時～15時
5. 場所：いきいきプラザ島根 403 島根県松江市東津田町1741-3
6. 演題：① 歯科衛生士として知っておきたい歯周病患者の治療計画と治療の進め方  
② 知って活かそう！今日からできるセルフケアの極意
7. 講師：① 目澤 優 先生（日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 前委員）  
② 坂井 雅子先生（日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 委員）
8. 研修単位：①②両方に該当する場合は、それぞれの単位取得が可能
  - ①日本歯周病学会会員の場合
    - ・認定歯科衛生士制度における申請時の教育研修単位（8単位）
    - ・更新時の生涯研修単位（10単位）
  - ②日本歯科衛生士会会員および会員外の場合
    - ・第5次生涯研修制度に基づく専門研修単位
      - I. 歯周治療の基礎
        - C. 歯周治療の基本的な流れと進め方 2単位
      - III. 口腔衛生指導と生活習慣指導
        - A. セルフケアについて 2単位
9. 内容

はじめに、島根県歯科衛生士会の吉田ちかみ会長の挨拶があり、続いて岡本美代子理事による司会進行の元、目澤講師により「歯科衛生士として知っておきたい歯周病患者の治療計画と治療の進め方」と題して講演が行われた。内容は、歯周治療の流れについて、初診時に行う診査・検査について、歯科で注意すべき全身疾患、歯周基本治療の目的、歯周組織再生治療法の適応・選択について、歯周外科治療後の口腔衛生について、メンテナンスとSPTについてなど、症例とともに詳しく解説した。そして、「認定資格を取得して、各分野に強い歯科衛生士になりましょう」との発言と、バージョンアップをして新しい知識・技術を獲得することの必要性を説明し、第69回春季学術大会および第69回秋季学術大会の案内をして「学会でお会いしましょう」と、講演の締めくくりとした。

午後の講演は、坂井講師による「知って活かそう！今日からできるセルフケアの極意」と題し、医療面接と口腔内観察、歯周組織検査や患者さんの行動観察から得られる情報を「知（し）」で始まる言葉で紹介し、それぞれの「し」が付く言葉をどのようにセルフケアの向上に活かせるのか説明した。また、得られた情報をもとに問題点抽出をした後は指導計画を立て、指導を実施して指導後の評価をすること、この5つの流れはセルフケアの場面においてずっと続くと解説した。講演の後半に症例を紹介し、最後に推薦図書と参考図書を挙げた。また、日本歯周病学会認定歯科衛生士は1,520名（令和7年8月31日時点において）であることを紹介し、取得方法を説明した。

## 10. 感想

当初の予定では、島根県歯科衛生士会の要望により会場 60 名、WEB 50 名の定員で募集され、島根県内の歯科衛生士学校学生へも参加の呼びかけをしていただいた。折りしも開催日の前々日にあたる 11 月 22 日に島根県歯科医師会主催「第 46 回全国歯科保健大会」が開催され、歯科衛生士学校の学生はそちらに参加されることとなり、本研修会へは参加されなかった。その結果、会場参加人数は 14 名、WEB 参加者は定員数を超えて 56 名を受け入れ、計 70 名が受講した。

ハイブリット開催としたことで、島根県衛生士会理事役員の方々には会場参加者の受付と WEB 参加者の出席確認作業において手間を要することとなった。実際には、事前に WEB 参加者へ参加 ID 番号通知などの準備と、当日は「顔出し」の本人確認を午前と午後の 2 回行う必要があり、講演後の「アンケート提出」を以って受講終了のため、相当ご苦勞であったと理解した。

研修会開催の受け入れ側となる島根県歯科衛生士会の理事役員の方々には、事前に講師との打ち合わせのための ZOOM 会議を含めご心勞とご負担をお掛けしたが、講師にとっては会場参加の方々が熱心にメモを執っている様子や聴講して下さる反応を見ながら講演できることは、対面式ならではの利点であると感じた。また、会場には認定をすでに取得し活躍されている 3 名の方々が島根県内と広島から遙々足をお運びくださり、「出雲はご縁を大切に作る地」というだけあって、直接お会いできる機会を得られたことは歯科衛生士関連委員として大変喜ばしく感じると共に、島根県歯科衛生士会理事役員の方々のご協力と細部にわたるお心遣いに感謝の意を表したい。



